

**FT-IR 分光法講習会**

1. 主催 日本分光学会
2. 協賛 日本鉄鋼協会, 他
3. 期日 昭和61年11月17日(月)~19日(水)
4. 場所 都立産業貿易センター本館(浜松町)  
東京都港区海岸 TEL 434-4211 (代表)

5. 内容

11月17日(月) 10:00~17:00

1. フーリエ分光法の基礎 阪大工 南 茂夫
2. FT-IR 測定系の原理と応用の基礎 東大工 寺前紀夫
3. 材料解析と FT-IR
  - I 有機材料 東レリサーチ 石田英之
  - II 電子材料 東芝総研 宇佐美俊郎
4. 分離分析法と FT-IR
  - I LC, SFC と FT-IR 豊橋技科大 神野清勝
  - II GC と FT-IR およびデータ検索 資生堂 難波隆二郎

11月18日(火) 9:30~17:20

5. 極限状態の FT-IR 東大薬 浜田嘉昭
6. 有機薄膜(主として LB 膜)と FT-IR 京大化研 梅村純三
7. 遠赤外, 近赤外の FT-IR 筑波大物工 大成誠之助

実習の概要説明

実習A  
実習B (Break)

各社装置の見学—自由参加

11月19日(水) 9:30~15:30

実習C

(各社装置の見学—自由参加)

実習のまとめパネルディスカッション

6. 参加費 会員(協賛学協会員を含む) 40,000 円
7. 定員 70 名(先着順)
8. 申込み締切日 9月30日(火), 定員になり次第締切
9. 申込および問合せ先 東京都千代田区神田淡路町 1-13 クリーンビル 301 日本分光会 (03-253-2747)

原稿募集

「鉄 と 鋼」特 集 号

テーマ “製鉄技術の拡大と高度化”

原稿締切日 昭和 62 年 3 月 10 日 (火)

昭和 62 年 11 月号 (第 73 年第 15 号) に製鉄特集号を企画しております。鉄鋼業の低成長時代といわれるようになってから、かなりな期間が経過し、この間、製鉄分野においては、省エネルギー化ならびに多様化するエネルギー事情に対応するため幅広い操業法を経験し、技術の拡大と高度化が達成されております。特に、原料分野においては、ミニペレット技術、高被還元性焼結鉱の製造、非焼成原料の開発、新塊成化法、コークスの分野では、コークスの反応性や強度、CDQ 技術、微粉炭や水スラリーの利用、高炉においては、超低シリコン操業、装入物分布制御あるいはトータルシステムとしての管理技術、数学的モデルの活用等に進歩がみられます。一方、高炉法に対抗する直接製鉄法や熔融還元法、さらには、フェロアロイやチタン等鉄以外の金属製錬の研究への広がりもみられます。また、観察、測定技術の面からは、X線断層撮影法、画像処理技術、その他新しいセンサーを活用した炉内計測の研究報告が出されるようになってきております。

そこで、今回は、製鉄全般にわたる技術の高度化および広範囲化という観点から、原料、製鉄のプロセスシステム、新製錬法、測定技術などを中心とした基礎科学的ならびに応用技術的研究の特集号にしたいと考えております。論文、技術報告の両分野に多数御投稿下さいますことを期待しております。

(1) 原稿締切日 昭和 61 年 3 月 10 日 (火)

(2) 発行 鉄と鋼 第 73 年第 15 号 (昭和 62 年 11 月号)

(3) 原稿枚数 論文および技術報告とも刷り上り 8 ページ以内 (表, 図, 写真を含めて本会所定の原稿用紙 40 枚以内)

(注) ・原稿は本会投稿規程に基づいて執筆して下さい。  
・投稿された原稿は編集委員会において審査されます。

(4) 問い合わせ・原稿送付先

〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3F

(社) 日本鉄鋼協会編集課「製鉄特集号」係

電話 03-279-6021 (代)

(注) 投稿時、原稿用紙に「製鉄特集号」と朱書して下さい。